

## 高校生ものづくりコンテスト九州大会・電子回路組立優勝

# Superひとりできるもん

## ～作業服の勇者達、孤独な戦いで掴んだ技～

### 人生長くて百年

現在は百年に一度の不況と言われているが、現代人の私にとって、経済、政治、文化などの百年前の日本は、文化などはつきりとは分らない、この「二〇〇年」という年月、私たちが百年前だろが百年後だろが、そんなものに関わらず現在・未来と不況に立ち向かうことしか選択肢はないのです。しかし、現在就職を希望

夏休みが始まってすぐの七月十九日、高校生ものづくりコンテスト九州大会が佐賀県、産業技術学院を主会場に行われました。長工が出場したのは自動車整備・電気工事・電子回路組み立て・化学分析の四部門。大会直前のインタビューでは「4S（整理・整頓・清潔・しつけ）を大事にしています。」（自動車整備：岩下君）、「ボックス中の圧着するケーブルの長さが今回は一五〇〜二〇〇ミリ。県大会より長くなり、これを綺麗にできるかが今後の課題。」（電気工事：松本君）、「仕上がりはまだまだ。」（電子回路：田中君）「器具や薬品が変わったので早く覚えるようにしています。」（化学分析 小佐々さん）、そして全員が「優勝してきますよ！」と強い意気込みを語っていました。新聞部も夏休み初日から早寝早起きを実行し、健康的なサマーバケーションという事で、早朝七時台に集合し、化学分析会場の佐賀大学とその他三部門の会場の産業技術学院の二手に分かれ、いざ取材へ。

### 最優秀賞 電子回路組み立て 難題もクリア!

机の上での作業ということ、涼しく居心地の良い会場。しかし選手の後ろ姿しか見えず、しつかり選手姿が見れた県大会の会場は良かったな、と。電子回路組み立て部門にはD3田中君が出場。松尾先生によると、「モーターを上手く回せるか」という予想を上回る問題が出てきたとか。しかしどの高校もプログラムで苦戦。中にはできない選手もあり、難しんでいる三年生で簡単に就職先が決まった人はほんの一握り。ほとんどの生徒が七月下旬になっても頭を抱えながら進路指導室に籠もり、求人票を見る・企業について調べるなどして就職活動に必死になっています。私もそんな中の一人であり、溜息ばかりつき、疲れ切った表情の毎日。最近では、夜も眠れぬほど悩むこともあり、もうどうすることもできない……と後悔・諦めが頭をよぎることも。しかし、これまでなまけていた自分も現在後悔している自分も



▼ドキドキ審査…結果は!?

それら全てを以て私なのだという事に気づいたので。大切なことは、自分自身を常に客観視し、仕事の意義を自分なりに探すこと。限られた中でも自分に適した職業を見極め、就職試験に臨むことで、入社後は試験時と変わらない気持ちで仕事に取り組みめるのだからと思います。そこそこの仕事を続けていく大きな力になるだろうし、自己の成長に繋がっていくのではないのでしょうか。百年に一度の不況という事はこれを乗り越えれば大丈夫!?

### ▼田中君の熱い背中! ▼お見事! 美しい配線



▼真剣タイヤマン!

その松尾先生はというと、終了十五分前頃に胃痛が来るそうで、胃薬はものづくりに必需品だとか。先生方が思っていたより田中君は課題が出来ていたようで長い時間の審査に。それを見た松尾先生は「田中の粘り強さが良い方だった」とコメント。そして、競技終了後には、「完成はしていないと思う。出来たところまでが勝負。」とのこと。結果は見事最優秀賞! 最後まで諦めなかったこと、そして一緒に頑張ってきた大塚君のおかげでもあったのではないのでしょうか。全国大会でも最優秀賞を!

### 2位…無念!

化学電気工事 自動車整備 【化学分析部門】 化学分析部門は佐賀大学にて競技が行われました。出場したのは去年に引き続き、C3小佐々さん。白衣が眩しいです。競技が始まると、選手は忙しく動くのに、物音がしない! そして、道具の扱い、集中力はさすが九州大会、他の県の誰よりも操作が丁寧だった小佐々さん。冷静な行動・判断で競技に取り組んでいました。競技終了後、小佐々さんの話では「福岡の選手が気の

気になるところは無い。信じてますから。予定通りで安心して見れた。結果は惜しくも二位。原口先生も松本君も気になっていたという佐賀工業が一位でした。 【自動車整備部門】 自動車整備部門では、まず筆記試験が行われ、次に四つの競技を行います。会場の静かで緊張した空気を破るような選手の大きなかけ声で競技スタート。競技中、岩下君の様子を見ると、余裕を持っていても順調そう。競技終了後、満足げな表情の岩下君に話を聞くと「出来はまあまあ。会場が熱く苦しかった。湿度が八十%ぐらいあった。沖繩の選手の方がとても気になった。」とのこと。今里先生にも話を聞くと、「課題は多かったが、持ち前の運動神経で素早く作業を終えることができた」とおっしゃっていました。 今回の競技を見て分かったことは、課題が多いこの部門で優勝するために選手は日々努力しているということ、試合中の真剣な表情が普段の教室での岩下君とは違ったところ。結果は二位。来年こそは優勝を! 期待しています。 【電気工事部門】 会場は、選手がコの字型に壁の方を向いて作業をする配置で全選手が見渡せるようになっていました。 E3松本君は、丁寧に寸法を測っており、このペースで大丈夫なのかと思えるほど。その丁寧に多くの人が注目していました。競技中に原口先生に話を聞くと「順調。安心して見られる。佐賀・福岡・沖繩の選手が気になる」とのこと。ボックスの中の圧着を課題としていた松本君ですが、練習しただけに綺麗に圧着されていました。 競技が進むにつれ、松本君の配線の美しさに見とれる人が多く、写真を撮るのも一苦労。さすがです。 競技終了後、松本君と原口先生にインタビュー。 松本君「地元の佐賀工業の選手は気になったけれど、練習でやったことを活かせるので良かったです。練習と違ったのは、材料が上等でケーブルがやりやすかったです。原口先生「佐賀工業が気になるが、まあ大丈夫だろう。



### 青春日記

夏休みを利用して父と長野の北アルプスに行つて来ました。 まずは飛行機で大阪に行き、そこから新幹線で名古屋へ。さらに列車で長野県松本市に行き、それから電車、バスと乗り継いで上高地へ。上高地はとても綺麗な場所ですが、天候は雨ゆづり見る暇もなく、リュックを担ぎ登山開始。 しばらくはハイキングコースで普通の運動靴でも行けるような道。ところが明神池というところを過ぎると見かけるのは重装備の人たちばかり。道も悪路になり土砂崩れで道が砂だらけだったり、道が雨のせいで川になっていたりと、足場が悪い状態。この日は約三時間、十一キロの道のり。一日目は楽勝でした。 二日目、朝四時半起床。 六時前に出発。二日目も雨。この日は本格的な登山道で昨日よりも足場が悪くなつて急傾斜や落石注意の看板が増えています。森の中の斜面をひたすら登っているとき突然前が開け、飛び込んできたのは雪景色。緑の風景の中に永久凍土として残っていた雪氷が印象的。しかしそこは通り道なので踏み固められていました。水の斜面は滑りやすくて靴の爪のようなものをつけて登山。足下が雪氷で、しかも雨と強風に震えながらの登山になりました。寒くて辛かったところに見えてきた山小屋で休憩。寒さに震えているとアルパイトの綺麗なお姉さんが温かいレモンティーをくれ、生き返りました。 これで、天気の回復を待たず、山小屋で凍土が。 (続く) ▼永久凍土



山へ行く①

### 満田君インターハイ出場決定!

七月十七日、長崎市長総合プールで水泳競技九州大会が行われました。今回は一人での取材でしたが、学校終了後、周りの白い目も気にせずとたくダッシュ。いざ取材! ところがどっこい、長崎地区の場所には長工がいな! 彷徨っていると、元から場所をとっていないとのこと。イ



飛び込み人間勢揃いの巻。

この泳ぎを見よ!



# もぐり大会

## もぐり大会 四部制覇!

### 県大会前の彼女と彼女

県大会を控える選手にインタビューをしました。

電子回路組み立て部門にはD3大塚君・田中君・J3小川君。重要なところは基礎やプログラムなど全てです。

松尾和先生・久保先生にお話しを伺いました。

松尾先生「電子のトップだから頑張ってくる。帰るときは言葉「怪我するな」病気になるな、ちゃんと寝ろ」久保先生「今まで練習したこと発揮してもらいたい」

化学分析部門にはC3小佐々さん・C2久野君・野君。重要なのは測定です。

自動車整備部門にはM2岩下君・P2岩崎君。重要なのは作業の正確さと冷静な判断力だとか。

指導している今里先生は「P科では自動車整備についてあまり勉強しないので、技術習得が大変だった。半年間勉強した結果を悔いの残らないように出し切る。」とのことでした。

旋盤部門にはM3川本君・P3江崎君。旋盤で重要なのは時間と寸法のように、ねじを削るのが難題のように橋口先生・米田先生に話を伺いました。

### 自動車整備部門

自動車整備部門の会場は長崎高等技術専門校。午前は筆記試験、午後から競技。競技内容は測定、エンジン故障探求の三つ。競技中に先生に今の長工の状況を伺ってみると、「初めて使う工具もあり、慣れない場所なので緊張が見られたけど今のところ順調。」とのこと。

競技終了後の選手、先生の笑顔を見ていると、この大会は納得のいくものになったのだなと思いました。そして見事三〇二点という好成绩で岩下君が優勝。岩崎君は惜しくも入賞はなりませんでしたが、今里先生の談話「本人は結果がどうであれ悔いは残っていないだろう。選手の話」岩下君「九州大会頑張る。」

### 化学分析部門

化学分析部門の会場は長崎工業。競技内容は「酢酸の滴定」。酸性の酢酸の中和点を求めるという他の競技と比べ少し地味な競技。技が、しかし味な競技。一滴が勝負を左右する。そんな単純には極められません。物音のない会場の静かな戦いにドキドキ。見守る先生は、観客席から双眼鏡

### 電気工事部門

突き抜けた広い一室にて課題に取り組み電気工事部門。選手の熱気も照りつける日差しに汗が滲み、たくましい姿。競技を進めていく中で、長工が他校の選手と作り方が違い、少し遅れを取っているようにも見えました。そこで、電気科原口先生に伺うと、「作り方を以前と反対にしたら。他の選手は最後に配線をするが、長工は最初に丁寧に配線をする。するとケーブルに差が出る。後でやるとよれたりして時間がかかる。」

原口先生のお言葉通り、終盤には長工が速くなり、美しさが他校とは大違い。

### 電子回路組み立て部門

電子回路組み立て部門は机の上での作業。旋盤とは対照的に静かな雰囲気でした。選手の半田付け作業は真剣そのもの。また審査時に選手は別室に移動し、一人ずつ呼ばれて動作確認を審査員の前で行っていました。会場には応援に駆けつけたもぐりOGの姿も。早速お話を伺ってみました。

西川先輩・鈴木先輩（J科）後輩の様子については「いつも通りマイペースで安心して見られる。」と語り、「ものづくりをしたことは、集中力や気持ちの切り換えなどで今に活かしている。」とのこと。

先輩方の言葉を大事に九州大会も頑張ってください。

岩崎君「若年者ものづくり大会で頑張ります。(先生一言「やった!」)」



▲どんな車でも任せろ! 滴定少女だぞ☆

競技終了後、選手に話を聞くと、瀬戸君は「出来はまあまあ。緊張したけれど慣れてきて本調子。」と割ってしまっただけのことについて悔しそうでした。また、松本君は「出来は良かった。汗が気になったけれど作業に集中できた。今まで頑張ってきた良かった。」と満足のできるものに仕上がったようでした。

結果は、松本君が見事最優秀賞に輝きました。瀬戸君は入賞できなかったものの、「練習よりうまくできた。来年頑張る。」と次への目標が出来ているようでした。

### 木材加工部門

選手と応援者の距離が目と鼻の先の状態で行われた木材加工部門。緊張感がひしひしと伝わって来ましたが、音は、選手が木材を切る音や扇風機の音がらんで、私達が写真を撮ろうと動く、じろっと冷たい目が……。集中力を途切れさせない選手の間々。

競技終了後、選手に話を聞くと黒田君は「だめでした。めっちゃ緊張した。」と納得のいかない表情。それに対して、前田君は「まあまあ出来た。いつも通りの力を出せた。」と満足のようでした。ただ、優勝できる不安とのこと。

結果は前田君が惜しくも最優秀賞でしたが、見ていてとても素晴らしいと感じて、これからも技術を磨いていって下さい。

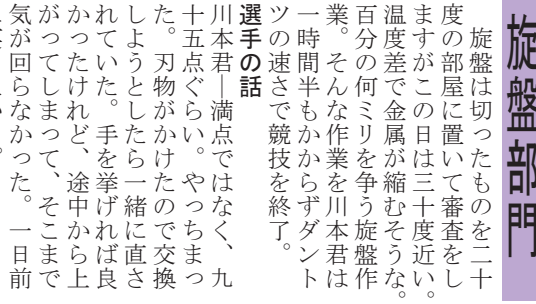
### 旋盤部門

旋盤は切ったものを二十度の部屋に置いて審査をしますがこの日は三十度近い温度差で金属が縮むような百分の何ミリの争う旋盤作業。そんな作業を川本君は一時間半もかからずダントツの速さで競技を終了。選手の話

川本君「満点ではなく、九十五点ぐらい。やっちゃった。刃物がかけたので交換しようとしたら一緒に直さされた。手を挙げれば良かったけれど、途中から上がってしまった。そこから気が回らなかつた。一日前に戻りたい。」

江崎君「出来はまあまあ。寸法を百分の五ミリ外してしまつたので悔しい。いつも頑張ってたけど、時間的にも戸惑ったけれども、時間もいっぱい通りにできたから良かった。」

米田先生の談話「気温が高いと切つたものが縮むからまだ分らない百分の二ミリの差が大切。切つたの片岡、あいつは速かった。川本も速い。長工歴代二位!川本はアドレナリンが一気に出るからアホみたいに速い。」と熱く話してくれました。



▲慎重に作業を進めます

表彰式終了後、電子回路組み立て部門の二人にお話を伺ったところ、結果にとっても満足している様子でした。指導をされていたD科松尾先生も「よく頑張った。優勝した田中君には九州でも頑張ってもらいたい。大塚君には応援を頑張ってもらいたい。」と語っていました。

また、三根副校長先生と三好教頭先生にもお話を伺いました。

三根副校長「一六部門中四部門で優勝。他の二部門も惜しくも二位。選手も、指導した先生方も頑張ってくれた。新聞部も頑張った。三好教頭「皆よく頑張った。選手の方もおつかれさまでした。」

### 編後記

夏休みに突入し、部活がないと思いきやほぼ毎日あつてみよは昇つたり降つたりでとても暑かったです。たまには部活を休んでゆっくりとどこかで休みたいなあと思つてました。これから休みをもらって夏休みを満喫したいと思います。

## トミーな日々

先日、ひいばーちゃんの眼科&買い物に

眼科前に一軒

眼科後に三軒

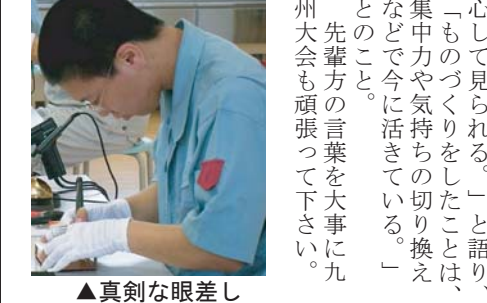
なにになにに...

元氣な次、行くよ! 九十三歳☆

付き合いました

トマト 4個、ピーマン 2個、etc...

回転焼き 10個、粉ボカリ 4箱、etc...



▲真剣な眼差し

## 数えてみよう

これでも初級?

これまでいろいろなものを数えてきてネタがなくなりつつあるこのコーナー。さてここでクイズです。☆今回数えたいものは何? ヒントは以前新聞部は机を数えました。机といえは.....: そう「イス」です!

I科の作品のイスからソファ・ベンチまでイスと呼ばれるものは全て数えました。「以前机を数えたから簡単☆」: そんな甘い考えは通用しません。梅雨時期ということでジメメシな中で作業。かと思えば太陽に照らされ汗をかきながらの作業。不快感に包ま

何処にあるか分かる!?

イスイス!

## 六千四十六個

驚いたのは、倉庫に生徒用イスの予備がなかったこと。教卓や生徒用机はあつたのに、イスの予備がない。それだけ新しいイスを使っている? イスも机もタダではありませぬ。全てにお金が掛かっています。そのことを十分に分かつた上で、大切に使いましょう。